

中山いくみが 高島市長に質問



高島宗一郎市長就任後、初の12月議会で、15日中山いくみ議員(日本共産党)が市長の基本姿勢を問う質問を行いました。

こども病院

徹底検証と現在地 での建て替えを

市長が、こども病院問題で人工島移転計画を「ゼロベースで見直す」と掲げていることに対して「市民は今度こそ移転計画が止まることを、期待している」と述べたうえで、検証の方法や内容について問いました。

中山議員は、吉田前市長が公約を破って「こども病院の人工島移転」を決定し、進めてきた経緯について詳しく述べた上で、高島市長に市民の代表による徹底した検証を求めるとともに、病院の建て替えを遅らせないために「現在地での建て替え計画」を並行して進めよう求めました。



中山質問におおぜい詰めかけた傍聴者と報道陣

市長「有識者を入れた検証委を」

中山議員は「場所は現在地が最適。こどもの命を守るためには、どうしたら現在地で建て替えられるかを検討すべきだ」と指摘しました。

人工島事業

市民の願いにこたえ 事業の中止を

市長「必要な事業」

高島市長は人工島事業の推進を掲げています。中山議員はいかにこの事業が破綻しているかを歴史を追って示し、「推進してきた市長は必ず選挙で落選してきた」と指摘し、土地が売れない実態を示し「泥沼の事業は、やめて欲しい」という市民の願いにこたえべきだ」と求めました。高島市長は「福岡市の発展にとって必要な事業。進める。」と答えました。



ウラ面もごらんください

経済対策

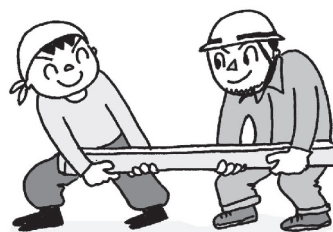
(1面つづき)

保育所・老人ホームの増設 住宅リフォーム助成で景気回復を

中山議員は、市民のくらしや中小業者の営業が大変な実態について、「市長は認識しているか」と質し、市長は「認識している」と答弁。中山議員は、「それなら圧倒的に足りない保育所、老人ホームを増設し、住宅リフォーム助

成制度をつくるべきだ」と提案しましたが、高島市長は具体的にどう取り組むか、示しませんでした。

市長 具体的な対応は示さず



質問を終えて

中山いくみ議員のコメント

こども病院問題では、市民の運動が、「検証」実施を勝ちとりました。人工島でなく、現在の場所の建て替えが実現するようしっかり監視し、声を上げ続けることが必要です。人工島は、実態をわかっていない市長に、わからせることが大切だと感じました。経済対策は、吉田前市政と変わるところが無く極めて不十分。待ったなしの保育所、老人ホーム増設、住宅リフォーム助成制度を新年度から実施させるため、引き続き頑張ります。

2011年 早良区新春のつどい

政治を国民の手に いっせい地方選挙で前進を

ご来場をお待ち
しております



市議
中山
いくみ



前参院議員
仁比
そうへい

劇団風の子九州労
組による演劇

- とき／2011年1月23日14時～16時 参加協力費500円
- ところ／早良市民センター大ホール (藤崎バスセンター上)
- 主催／日本共産党早良区後援会・日本共産党福岡西部地区委員会
- お問い合わせ／日本共産党福岡西部地区委員会 ☎841-1158